

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／債券	
信託期間	約10年間（2012年3月30日～2022年3月22日）	
運用方針	信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。	
主要投資対象	ベビーファンド	メキシコ・ボンド・マザーファンドの受益証券
	メキシコ・ボンド・マザーファンド	メキシコ・ペソ建債券
マザーファンドの運用方法	<p>①主として、メキシコ・ペソ建債券に投資することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。</p> <p>②運用にあたっては、以下の方針を基本とします。</p> <p>イ. 投資対象は、メキシコの政府および政府関係機関ならびに国際機関等が発行する債券とします。</p> <p>ロ. 金利や物価の動向、経済情勢や市場環境等を勘案し、ポートフォリオを構築します。</p> <p>③外貨建資産の運用にあたっては、ダイワ・アセット・マネジメント（ヨーロッパ）リミテッドに運用の指図にかかる権限の一部を委託します。</p> <p>④外貨建資産の組入比率は、通常の状態でも高位に維持することを基本とします。</p> <p>⑤為替変動リスクを回避するための為替ヘッジは原則として行ないません。</p>	
組入制限	ベビーファンドのマザーファンド組入上限比率	無制限
	マザーファンドの株式組入上限比率	純資産総額の10%以下
分配方針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とし、当初設定から1年以内に分配を開始し、分配開始後は、原則として、継続的な分配を行なうことを目標に分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行わないことがあります。	

当ファンドは、ファミリーファンド方式で運用を行ないません。ファミリーファンド方式とは、受益者からの資金をまとめてベビーファンド（当ファンド）とし、その資金を主としてマザーファンドの受益証券に投資して、実質的な運用をマザーファンドで行なう仕組みです。

メキシコ・ボンド・オープン （毎月決算型）

運用報告書（全体版）

第55期	（決算日	2016年10月24日）
第56期	（決算日	2016年11月22日）
第57期	（決算日	2016年12月22日）
第58期	（決算日	2017年1月23日）
第59期	（決算日	2017年2月22日）
第60期	（決算日	2017年3月22日）

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

さて、「メキシコ・ボンド・オープン（毎月決算型）」は、このたび、第60期の決算を行ないました。

ここに、第55期～第60期中の運用状況を報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

大和投資信託

Daiwa Asset Management

東京都千代田区丸の内一丁目9番1号

お問い合わせ先（コールセンター）

TEL 0120-106212

（営業日の9:00～17:00）

<http://www.daiwa-am.co.jp/>

<3147>

最近30期の運用実績

決算期	基準価額			シティメキシコ国債インデックス（円換算）		公社債組入比率	純資産額
	（分配落）	税込み分配金	期中騰落率	（参考指数）	期中騰落率		
	円	円	%		%	%	百万円
31期末(2014年10月22日)	8,330	100	△ 3.9	14,812	△ 3.6	97.1	2,017
32期末(2014年11月25日)	9,089	100	10.3	16,383	10.6	96.5	2,351
33期末(2014年12月22日)	8,525	100	△ 5.1	15,596	△ 4.8	97.0	2,508
34期末(2015年1月22日)	8,388	100	△ 0.4	15,629	0.2	96.9	2,740
35期末(2015年2月23日)	8,147	100	△ 1.7	15,389	△ 1.5	98.2	2,823
36期末(2015年3月23日)	8,013	100	△ 0.4	15,530	0.9	97.2	2,880
37期末(2015年4月22日)	7,762	100	△ 1.9	15,079	△ 2.9	96.4	2,925
38期末(2015年5月22日)	7,797	100	1.7	15,444	2.4	91.5	3,392
39期末(2015年6月22日)	7,710	100	0.2	15,523	0.5	88.6	3,450
40期末(2015年7月22日)	7,405	100	△ 2.7	15,037	△ 3.1	97.4	3,433
41期末(2015年8月24日)	6,783	100	△ 7.0	14,000	△ 6.9	96.4	3,087
42期末(2015年9月24日)	6,585	100	△ 1.4	13,814	△ 1.3	96.2	2,959
43期末(2015年10月22日)	6,690	100	3.1	14,364	4.0	96.1	2,966
44期末(2015年11月24日)	6,766	100	2.6	14,784	2.9	94.0	2,914
45期末(2015年12月22日)	6,335	100	△ 4.9	14,111	△ 4.6	93.5	2,605
46期末(2016年1月22日)	5,550	100	△ 10.8	12,576	△ 10.9	95.5	2,256
47期末(2016年2月22日)	5,346	100	△ 1.9	12,477	△ 0.8	95.7	2,139
48期末(2016年3月22日)	5,484	100	4.5	13,093	4.9	94.3	2,187
49期末(2016年4月22日)	5,319	100	△ 1.2	12,913	△ 1.4	96.3	2,096
50期末(2016年5月23日)	4,961	100	△ 4.9	12,221	△ 5.4	96.8	1,943
51期末(2016年6月22日)	4,591	100	△ 5.4	11,527	△ 5.7	91.0	1,901
52期末(2016年7月22日)	4,648	70	2.8	11,842	2.7	96.2	2,034
53期末(2016年8月22日)	4,490	70	△ 1.9	11,603	△ 2.0	97.0	2,017
54期末(2016年9月23日)	4,124	70	△ 6.6	10,761	△ 7.3	96.5	1,882
55期末(2016年10月24日)	4,394	70	8.2	11,681	8.5	96.1	2,039
56期末(2016年11月22日)	3,967	70	△ 8.1	10,714	△ 8.3	95.1	1,950
57期末(2016年12月22日)	4,133	70	5.9	11,393	6.3	87.8	2,279
58期末(2017年1月23日)	3,732	70	△ 8.0	10,409	△ 8.6	96.3	2,506
59期末(2017年2月22日)	3,977	70	8.4	11,347	9.0	97.2	3,388
60期末(2017年3月22日)	4,100	70	4.9	11,863	4.5	96.0	4,353

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) シティメキシコ国債インデックス（円換算）は、シティメキシコ国債インデックス（メキシコ・ペソベース）をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和投資信託が計算したものです。

(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

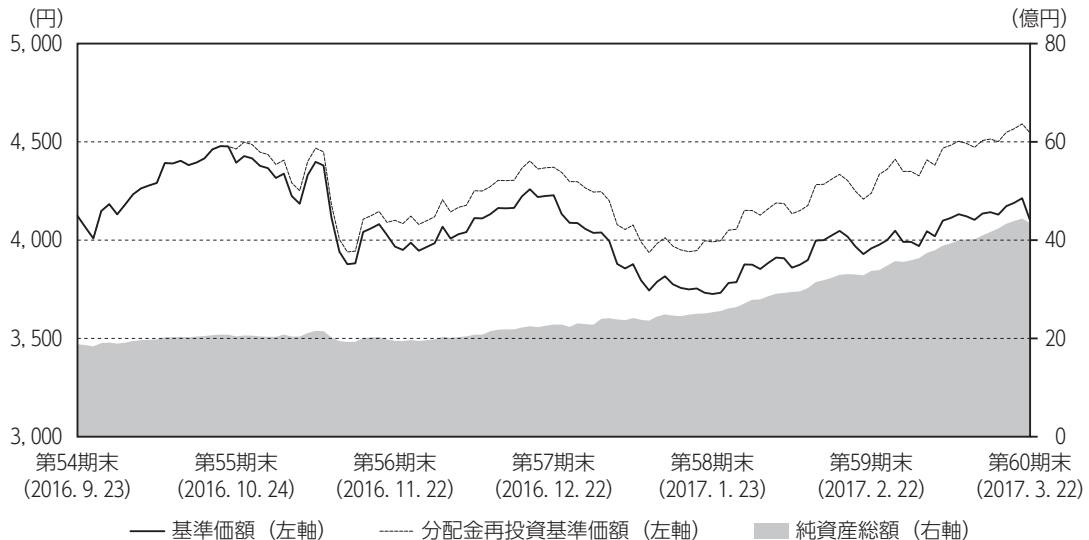
(注4) 公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

(注5) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。



運用経過

基準価額等の推移について



* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものであり、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまが利用するコースにより異なります。また、分配金の課税条件は、ファンドの購入価額により異なります。

基準価額・騰落率

第55期首：4,124円

第60期末：4,100円（既払分配金420円）

騰落率：10.2%（分配金再投資ベース）

基準価額の主な変動要因

投資している債券の利息収入や、メキシコ・ペソが円に対して上昇したことが主なプラス要因となり、基準価額は上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

メキシコ・ボンド・オープン（毎月決算型）

	年 月 日	基 準 価 額		シティメキシコ国債インデックス (円換算)		公 社 債 入 率 組 比
			騰 落 率	(参考指数)	騰 落 率	
第55期	(期首) 2016年 9月23日	円 4,124	% —	10,761	% —	% 96.5
	9月末	4,131	0.2	10,795	0.3	96.0
	(期末) 2016年10月24日	4,464	8.2	11,681	8.5	96.1
第56期	(期首) 2016年10月24日	4,394	—	11,681	—	96.1
	10月末	4,316	△ 1.8	11,446	△ 2.0	94.6
	(期末) 2016年11月22日	4,037	△ 8.1	10,714	△ 8.3	95.1
第57期	(期首) 2016年11月22日	3,967	—	10,714	—	95.1
	11月末	3,984	0.4	10,812	0.9	93.9
	(期末) 2016年12月22日	4,203	5.9	11,393	6.3	87.8
第58期	(期首) 2016年12月22日	4,133	—	11,393	—	87.8
	12月末	4,039	△ 2.3	11,093	△ 2.6	91.6
	(期末) 2017年 1月23日	3,802	△ 8.0	10,409	△ 8.6	96.3
第59期	(期首) 2017年 1月23日	3,732	—	10,409	—	96.3
	1月末	3,875	3.8	10,831	4.1	93.1
	(期末) 2017年 2月22日	4,047	8.4	11,347	9.0	97.2
第60期	(期首) 2017年 2月22日	3,977	—	11,347	—	97.2
	2月末	3,991	0.4	11,341	△ 0.1	97.1
	(期末) 2017年 3月22日	4,170	4.9	11,863	4.5	96.0

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

（2016. 9. 24 ~ 2017. 3. 22）

■メキシコ債券市況

当作成期間の前半は、米国大統領選挙の不透明感やメキシコ国内の政局不安が主な要因となり、金利は上昇基調でした。米国の大統領選挙においてトランプ氏が勝利すると、同氏がNAFTA（北米自由貿易協定）を批判し、米国・メキシコ国境間の壁建設や不法移民の取り締まり強化を公約していたため、金利上昇が進みましたが、それを受けてメキシコ中央銀行は、自国通貨の下落とインフレ進行を抑えるため利上げを行ないました。当作成期間の後半は、トランプ大統領の政策を見極める動きと、メキシコ政府の米国との対話姿勢から過度な不安が後退し、金利は落ち着いて推移しました。

■為替相場

当作成期間の前半は、OPEC（石油輸出国機構）の減産合意観測などを受けて一時上昇する局面もありましたが、米国の大統領選挙において、NAFTAを批判し、米国・メキシコ国境間の壁建設や不法移民の取り締まり強化を公約していたトランプ氏が勝利したため、メキシコ・ペソは大きく売られました。当作成期間の後半は、新たな悪材料が見られないなか、中央銀行が通貨防衛の利上げを行なっていることや為替ヘッジ契約の入札を導入すると発表したことが好感され、メキシコ・ペソは買い戻されました。

前作成期間末における「今後の運用方針」**■当ファンド**

当ファンドの商品性格に鑑み、「メキシコ・ボンド・マザーファンド」の受益証券を高位で組み入れ、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。

■メキシコ・ボンド・マザーファンド

主として、メキシコ・ペソ建債券に投資することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。債券ポートフォリオにつきましては、メキシコ・ペソ建ての国債を中心に投資する予定です。ポートフォリオの修正デュレーションについては、金利や物価の動向、経済状況や市場環境等に応じて柔軟に変化させます。

ポートフォリオについて

(2016. 9. 24 ~ 2017. 3. 22)

■当ファンド

当作成期間を通じて「メキシコ・ボンド・マザーファンド」の受益証券に投資することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないました。

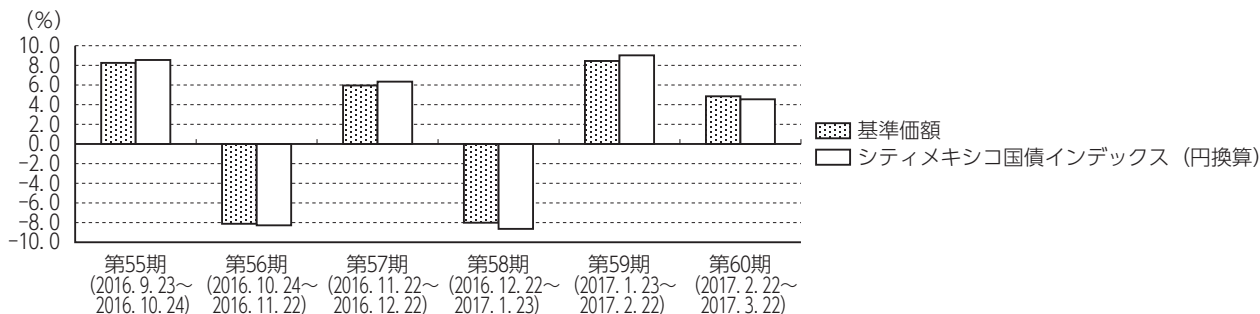
■メキシコ・ボンド・マザーファンド

- ・基本的な商品性格に基づき、メキシコ・ペソ建てのメキシコ国債および政府機関債に投資しました。
- ・債券ポートフォリオの金利リスクについては、修正デュレーションで4.5（年）～5.6（年）程度でコントロールしました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。



分配金について

第55期～第60期の1万口当り分配金（税込み）はそれぞれ70円といたしました。

収益分配金の決定根拠は下記の「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

■分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	第55期	第56期	第57期	第58期	第59期	第60期
	2016年9月24日 ～2016年10月24日	2016年10月25日 ～2016年11月22日	2016年11月23日 ～2016年12月22日	2016年12月23日 ～2017年1月23日	2017年1月24日 ～2017年2月22日	2017年2月23日 ～2017年3月22日
当期分配金（税込み）（円）	70	70	70	70	70	70
対基準価額比率（％）	1.57	1.73	1.67	1.84	1.73	1.68
当期の収益（円）	25	17	23	16	20	18
当期の収益以外（円）	44	52	46	53	49	51
翌期繰越分配対象額（円）	2,016	1,965	1,920	1,870	1,823	1,774

（注1）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

（注2）円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

（注3）当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

■収益分配金の計算過程（1万口当り）

項 目	第55期	第56期	第57期	第58期	第59期	第60期
(a) 経費控除後の配当等収益	25.52円	17.78円	23.31円	16.95円	20.20円	18.36円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(c) 収益調整金	2,060.70	2,017.50	1,967.51	1,923.53	1,873.33	1,826.11
(d) 分配準備積立金	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(e) 当期分配対象額 (a+b+c+d)	2,086.23	2,035.28	1,990.82	1,940.48	1,893.54	1,844.48
(f) 分配金	70.00	70.00	70.00	70.00	70.00	70.00
(g) 翌期繰越分配対象額 (e-f)	2,016.23	1,965.28	1,920.82	1,870.48	1,823.54	1,774.48

（注）下線を付した該当項目から分配金を計上しています。



今後の運用方針

■当ファンド

当ファンドの商品性格に鑑み、引き続き、「メキシコ・ボンド・マザーファンド」の受益証券を高位で組み入れ、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。

■メキシコ・ボンド・マザーファンド

主として、メキシコ・ペソ建債券に投資することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。債券ポートフォリオにつきましては、メキシコ・ペソ建ての国債を中心に投資する予定です。ポートフォリオの修正デュレーションについては、金利や物価の動向、経済状況や市場環境等に応じて柔軟に変化させます。

1万口当りの費用の明細

項 目	第55期～第60期 (2016. 9. 24～2017. 3. 22)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	30円	0. 736%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は4, 077円です。
(投 信 会 社)	(13)	(0. 330)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託銀行への運用指図、基準価額の計算、目論見書・運用報告書の作成等の対価
(販 売 会 社)	(16)	(0. 385)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 銀 行)	(1)	(0. 021)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	—	—	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権総口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有 価 証 券 取 引 税	—	—	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	1	0. 018	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(0)	(0. 008)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監 査 費 用)	(0)	(0. 003)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(そ の 他)	(0)	(0. 007)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	31	0. 753	

(注 1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

(注 2) 金額欄は各項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

(注 3) 比率欄は1万口当りのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

メキシコ・ボンド・オープン（毎月決算型）

■売買および取引の状況

親投資信託受益証券の設定・解約状況

(2016年9月24日から2017年3月22日まで)

決算期	第55期～第60期			
	設定		解約	
	□数	金額	□数	金額
	千口	千円	千口	千円
メキシコ・ボンド・マザーファンド	2,128,435	2,339,419	205,010	225,444

(注) 単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況

当作成期間（第55期～第60期）中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表

親投資信託残高

種類	第54期末	第60期末	
	□数	□数	評価額
	千口	千口	千円
メキシコ・ボンド・マザーファンド	1,776,903	3,700,328	4,334,194

(注) 単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2016年10月24日)、(2016年11月22日)、(2016年12月22日)、(2017年1月23日)、(2017年2月22日)、(2017年3月22日)現在

項目	第55期末	第56期末	第57期末	第58期末	第59期末	第60期末
(A) 資産	2,074,825,655円	2,014,532,057円	2,322,485,325円	2,584,594,733円	3,452,447,176円	4,433,044,243円
コール・ローン等	45,167,718	50,932,954	52,210,538	89,278,866	78,101,563	98,849,758
メキシコ・ボンド・マザーファンド（評価額）	2,029,657,937	1,940,949,624	2,270,274,787	2,495,315,867	3,374,345,613	4,334,194,485
未収入金	—	22,649,479	—	—	—	—
(B) 負債	35,437,257	64,432,947	42,528,933	77,646,937	63,478,471	79,074,990
未払収益分配金	32,490,159	34,408,218	38,610,609	47,019,406	59,657,328	74,332,902
未払解約金	509,032	27,666,717	1,394,554	27,541,050	220,748	271,057
未払信託報酬	2,424,513	2,331,421	2,483,296	3,029,072	3,523,281	4,369,476
その他未払費用	13,553	26,591	40,474	57,409	77,114	101,555
(C) 純資産総額（A－B）	2,039,388,398	1,950,099,110	2,279,956,392	2,506,947,796	3,388,968,705	4,353,969,253
元本	3,249,015,904	3,440,821,811	3,861,060,924	4,701,940,655	5,965,732,846	7,433,290,219
次期繰越損益金	△ 1,209,627,506	△ 1,490,722,701	△ 1,581,104,532	△ 2,194,992,859	△ 2,576,764,141	△ 3,079,320,966
(D) 受益権総口数	4,641,451,293口	4,915,459,731口	5,515,801,321口	6,717,058,079口	8,522,475,495口	10,618,986,028口
1万口当り基準価額（C/D）	4,394円	3,967円	4,133円	3,732円	3,977円	4,100円

*第54期末における元本額は3,194,557,417円、当作成期間（第55期～第60期）中における追加設定元本額は4,740,270,677円、同解約元本額は501,537,875円です。

*第60期末の計算口数当りの純資産額は4,100円です。

*第60期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は3,079,320,966円です。

■投資信託財産の構成

2017年3月22日現在

項目	第60期末	
	評価額	比率
	千円	%
メキシコ・ボンド・マザーファンド	4,334,194	97.8
コール・ローン等、その他	98,849	2.2
投資信託財産総額	4,433,044	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、3月22日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル＝111.72円、1メキシコ・ペソ＝5.84円です。

(注3) メキシコ・ボンド・マザーファンドにおいて、第60期末における外貨建純資産（4,276,856千円）の投資信託財産総額（4,334,281千円）に対する比率は、98.7%です。

■損益の状況

第55期 自 2016年 9月24日 至 2016年10月24日 第57期 自 2016年11月23日 至 2016年12月22日 第59期 自 2017年 1月24日 至 2017年 2月22日
 第56期 自 2016年10月25日 至 2016年11月22日 第58期 自 2016年12月23日 至 2017年 1月23日 第60期 自 2017年 2月23日 至 2017年 3月22日

項 目	第55期	第56期	第57期	第58期	第59期	第60期
(A) 配当等収益	△ 569円	△ 653円	△ 954円	△ 1,292円	△ 1,084円	△ 1,266円
受取利息	3	12	12	16	5	—
支払利息	△ 572	△ 665	△ 966	△ 1,308	△ 1,089	△ 1,266
(B) 有価証券売買損益	158,109,576	△ 165,853,052	120,605,456	△ 188,591,944	239,602,687	188,479,139
売買益	158,927,378	4,537,812	122,654,230	4,678,236	240,614,409	188,884,111
売買損	△ 817,802	△ 170,390,864	△ 2,048,774	△ 193,270,180	△ 1,011,722	△ 404,972
(C) 信託報酬等	△ 2,438,066	△ 2,344,459	△ 2,497,179	△ 3,046,007	△ 3,542,986	△ 4,393,917
(D) 当期損益金 (A + B + C)	155,670,941	△ 168,198,164	118,107,323	△ 191,639,243	236,058,617	184,083,956
(E) 前期繰越損益金	△ 1,139,240,913	△ 967,975,934	△ 1,115,324,118	△ 967,573,714	△ 1,155,791,967	△ 932,340,091
(F) 追加信託差損益金	△ 193,567,375	△ 320,140,385	△ 545,277,128	△ 988,760,496	△ 1,597,373,463	△ 2,256,731,929
(配当等相当額)	(956,465,408)	(991,694,478)	(1,085,239,523)	(1,292,047,183)	(1,596,546,867)	(1,939,148,461)
(売買損益相当額)	(△ 1,150,032,783)	(△ 1,311,834,863)	(△ 1,630,516,651)	(△ 2,280,807,679)	(△ 3,193,920,330)	(△ 4,195,880,390)
(G) 合計 (D + E + F)	△ 1,177,137,347	△ 1,456,314,483	△ 1,542,493,923	△ 2,147,973,453	△ 2,517,106,813	△ 3,004,988,064
(H) 収益分配金	△ 32,490,159	△ 34,408,218	△ 38,610,609	△ 47,019,406	△ 59,657,328	△ 74,332,902
次期繰越損益金 (G + H)	△ 1,209,627,506	△ 1,490,722,701	△ 1,581,104,532	△ 2,194,992,859	△ 2,576,764,141	△ 3,079,320,966
追加信託差損益金	△ 214,208,546	△ 345,806,062	△ 571,028,713	△ 1,024,392,053	△ 1,639,807,100	△ 2,311,558,112
(配当等相当額)	(935,824,237)	(966,028,801)	(1,059,487,938)	(1,256,415,626)	(1,554,113,230)	(1,884,322,278)
(売買損益相当額)	(△ 1,150,032,783)	(△ 1,311,834,863)	(△ 1,630,516,651)	(△ 2,280,807,679)	(△ 3,193,920,330)	(△ 4,195,880,390)
繰越損益金	△ 995,418,960	△ 1,144,916,639	△ 1,010,075,819	△ 1,170,600,806	△ 936,957,041	△ 767,762,854

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は「収益分配金の計算過程（総額）」の表をご参照ください。

(注4) 投資信託財産（親投資信託）の運用の指図に係る権限の全部または一部を委託するために要する費用：487,819円（未監査）

■収益分配金の計算過程（総額）

項 目	第55期	第56期	第57期	第58期	第59期	第60期
(a) 経費控除後の配当等収益	11,848,988円	8,742,541円	12,859,024円	11,387,849円	17,223,691円	19,506,719円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0	0	0	0	0	0
(c) 収益調整金	956,465,408	991,694,478	1,085,239,523	1,292,047,183	1,596,546,867	1,939,148,461
(d) 分配準備積立金	0	0	0	0	0	0
(e) 当期分配対象額 (a + b + c + d)	968,314,396	1,000,437,019	1,098,098,547	1,303,435,032	1,613,770,558	1,958,655,180
(f) 分配金	32,490,159	34,408,218	38,610,609	47,019,406	59,657,328	74,332,902
(g) 翌期繰越分配対象額 (e - f)	935,824,237	966,028,801	1,059,487,938	1,256,415,626	1,554,113,230	1,884,322,278
(h) 受益権総口数	4,641,451,293口	4,915,459,731口	5,515,801,321口	6,717,058,079口	8,522,475,495口	10,618,986,028口

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ						
1 万口当り分配金	第55期	第56期	第57期	第58期	第59期	第60期
	70円	70円	70円	70円	70円	70円
（単 価）	（4,394円）	（3,967円）	（4,133円）	（3,732円）	（3,977円）	（4,100円）

- 〈分配金再投資コース〉をご利用の方の税引き分配金は、上記（ ）内の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

分配金の課税上の取扱いについて

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。
- ・普通分配金については、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%および地方税5%）の税率による源泉徴収が行なわれ、申告不要制度が適用されます。なお、確定申告を行ない、申告分離課税または総合課税（配当控除の適用はありません。）を選択することもできます。
- ・法人の受益者の場合、税率が異なります。
- ・税法が改正された場合等には、上記の内容が変更になることがあります。くわしくは、販売会社にお問い合わせください。
- ・課税上の取扱いの詳細につきましては、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

当ファンドは少額投資非課税制度「NISA（ニーサ）」および未成年者少額投資非課税制度「ジュニアNISA」の適用対象です。非課税口座における取扱いについては販売会社にお問い合わせください。

メキシコ・ボンド・マザーファンド

運用報告書 第5期 (決算日 2017年3月22日)

(計算期間 2016年3月23日～2017年3月22日)

メキシコ・ボンド・マザーファンドの第5期にかかる運用状況をご報告申し上げます。

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。
主要投資対象	メキシコ・ペソ建債券
運用方法	①主として、メキシコ・ペソ建債券に投資することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。 ②運用にあたっては、以下の方針を基本とします。 イ. 投資対象は、メキシコの政府および政府関係機関ならびに国際機関等が発行する債券とします。 ロ. 金利や物価の動向、経済情勢や市場環境等を勘案し、ポートフォリオを構築します。 ③外貨建資産の運用にあたっては、ダイワ・アセット・マネジメント（ヨーロッパ）リミテッドに運用の指図にかかる権限の一部を委託します。 ④外貨建資産の組入比率は、通常の状態 で高位に維持することを基本とします。 ⑤為替変動リスクを回避するための為替ヘッジは原則として行ないません。
株式組入制限	純資産総額の10%以下

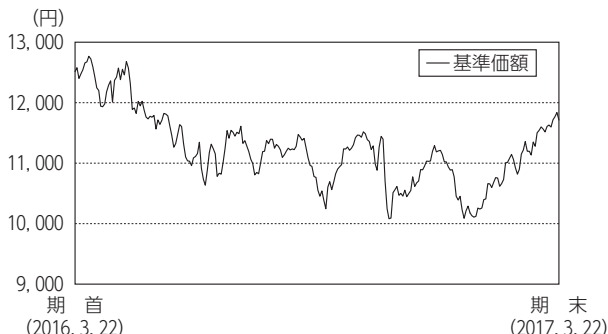
大和投資信託

Daiwa Asset Management

東京都千代田区丸の内一丁目9番1号

<http://www.daiwa-am.co.jp/>

■当期中の基準価額と市況の推移



年月日	基準価額		シティメキシコ国債インデックス (円換算) (参考指数)		公社債組入比率
	円	%	騰落率	%	
(期首) 2016年3月22日	12,514	—	13,093	—	95.1
3月末	12,766	2.0	13,350	2.0	95.1
4月末	12,573	0.5	13,096	0.0	97.1
5月末	11,811	△ 5.6	12,254	△ 6.4	95.4
6月末	11,175	△ 10.7	11,560	△ 11.7	89.3
7月末	11,191	△ 10.6	11,506	△ 12.1	97.6
8月末	11,236	△ 10.2	11,531	△ 11.9	96.6
9月末	10,561	△ 15.6	10,795	△ 17.6	96.4
10月末	11,225	△ 10.3	11,446	△ 12.6	95.1
11月末	10,548	△ 15.7	10,812	△ 17.4	94.3
12月末	10,892	△ 13.0	11,093	△ 15.3	92.0
2017年1月末	10,658	△ 14.8	10,831	△ 17.3	93.5
2月末	11,196	△ 10.5	11,341	△ 13.4	97.6
(期末) 2017年3月22日	11,713	△ 6.4	11,863	△ 9.4	96.4

(注1) 騰落率は期首比。

(注2) シティメキシコ国債インデックス (円換算) は、シティメキシコ国債インデックス (メキシコ・ペソベース) をもとに円換算し、当ファンド設定日 を10,000として大和投資信託が計算したものです。

(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注4) 公社債組入比率は新株予約権付社債券 (転換社債券) および債券先物を除きます。

《運用経過》

◆基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】

期首：12,514円 期末：11,713円 騰落率：△6.4%

【基準価額の主な変動要因】

投資している債券の利息収入はプラスに寄りましたが、メキシコ・ペソが円に対して下落したことが主なマイナス要因となり、基準価額は下落しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

◆投資環境について

○メキシコ債券市況

期の前半は、財政をはじめとした経済への懸念を受けてメキシコ・ペソ安が進んだことに伴い、通貨防衛のため政策金利の引き上げがされるのではないかと観測が高まり、金利は上昇する展開となりました。OPEC (石油輸出機構) の非公式会合開催の発表を受けて生産調整への期待から原油価格が上昇したことに連れて、産油国のため金利が低下する局面もありましたが、国内の政局不安および米国の利上げ動向と米国大統領選挙の不透明感が主な要因となり、金利は上昇しました。期の後半は、米国の大統領選挙が行なわれ、NAFTA (北米自由貿易協定) を批判し、米国・メキシコ国境間の壁建設や不法移民の取り締まり強化を公約していたトランプ氏が勝利しました。この結果を受け、メキシコ経済の不透明感が高まり、金利は大きく上昇しました。メキシコ中央銀行は自国通貨の下落とインフレ進行を抑えるため利上げを行いません。

○為替相場

メキシコ・ペソは、期の前半、米国の利上げ観測の高まりを受けた資本流出や原油価格の下落を背景とした財政不安により、下落しました。また、米国大統領選挙の共和党候補としてトランプ氏が指名されたことや米国向け輸出の減速を背景に、軟調に推移しました。メキシコ国内では、ペニャ・ニエト大統領が治安、汚職、経済問題に対して有効な対策を打てないなどの政局不安があり、通貨下落の材料となりました。期の後半は、OPECの減産合意観測などを受け一時上昇する局面もありましたが、米国の大統領選挙において、NAFTAを批判し、米国・メキシコ国境間の壁建設や不法移民の取り締まり強化を公約していたトランプ氏が勝利したため、大きく売られました。その後は、新たな悪材料が見られないなか、中央銀行が通貨防衛の利上げを行なっていることや為替ヘッジ契約の入札を導入すると発表したことが好感され、メキシコ・ペソは買い戻される展開となりました。

◆前期における「今後の運用方針」

主として、メキシコ・ペソ建債券に投資することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行いません。債券ポートフォリオにつきましては、メキシコ・ペソ建ての国債を中心に投資する予定です。ポートフォリオの修正デュレーションについては、金利や物価の動向、経済状況や市場環境等に応じて柔軟に変化させます。

◆ポートフォリオについて

- ・基本的な商品性格に基づき、メキシコ・ペソ建てのメキシコ国債および政府機関債に投資しました。
- ・債券ポートフォリオの金利リスクについては、修正デュレーションで4.5 (年) ~5.8 (年) 程度でコントロールしました。

◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

当期の当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率は、「当期中の基準価額と市況の推移」をご参照ください。

《今後の運用方針》

主として、メキシコ・ペソ建債券に投資することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行いません。債券ポートフォリオにつきましては、メキシコ・ペソ建ての国債を中心に投資する予定です。ポートフォリオの修正デュレーションについては、金利や物価の動向、経済状況や市場環境等に応じて柔軟に変化させます。

■ 1 万口当りの費用の明細

項 目	当 期
売買委託手数料	—円
有価証券取引税	—
その他費用 (保管費用)	3 (2)
(その他)	(1)
合 計	3

(注1) 期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。費用の項目および算出法については前掲の「1万口当りの費用の明細」の項目の概要をご参照ください。

(注2) 各項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

■ 売買および取引の状況

公 社 債

(2016年3月23日から2017年3月22日まで)

		買付額	売付額
外 国	メキシコ	千メキシコ・ペソ 国債証券 308,009	千メキシコ・ペソ 163,838 (—)
		261,058	— (—)

(注1) 金額は受渡し代金(経過利子分は含まれておりません)。

(注2) ()内は償還による減少分、上段の数字には含まれておりません。

(注3) 単位未満は切捨て。

■ 主要な売買銘柄

公 社 債

(2016年3月23日から2017年3月22日まで)

当 期		期 末	
買 付	金 額	売 付	金 額
銘 柄	金 額	銘 柄	金 額
	千円		千円
Petroleos Mexicanos (メキシコ) 7.19% 2024/9/12	558,420	Mexican Bonos (メキシコ) 7.25% 2016/12/15	279,978
INTL. FIN. CORP. (国際機関) 3.78% 2018/8/22	374,439	Mexican Bonos (メキシコ) 6.5% 2021/6/10	249,057
Mexican Bonos (メキシコ) 7.75% 2017/12/14	257,852	Mexican Bonos (メキシコ) 7.75% 2017/12/14	171,312
Mexican Bonos (メキシコ) 7.75% 2042/11/13	248,960	Mexican Bonos (メキシコ) 6.5% 2022/6/9	133,482
Mexican Bonos (メキシコ) 6.5% 2021/6/10	246,160	Mexican Bonos (メキシコ) 8.5% 2029/5/31	77,710
EUROPEAN INVESTMENT BANK (国際機関) 8% 2027/1/11	201,811	Mexican Bonos (メキシコ) 7.75% 2031/5/29	39,748
Mexican Bonos (メキシコ) 8.5% 2038/11/18	178,874		
INTL. FIN. CORP. (国際機関) 3.88% 2018/7/26	162,092		
Mexican Bonos (メキシコ) 5% 2019/12/11	149,040		
Mexican Bonos (メキシコ) 7.75% 2031/5/29	138,345		

(注1) 金額は受渡し代金(経過利子分は含まれておりません)。

(注2) 単位未満は切捨て。

■ 組入資産明細表

(1) 外国(外貨建) 公社債(通貨別)

作 成 期	当 期			期 末				
	額 面 金 額	評 価 額		組入比率	うちBB格 以下組入 率	残存期間別組入比率		
		外 貨 建 金 額	邦 貨 換 算 金 額			5 年 以 上	2 年 以 上	2 年 未 満
メキシコ	千メキシコ・ペソ 730,768	千メキシコ・ペソ 715,544	千円 4,178,782	% 96.4	% —	% 50.0	% 18.2	% 28.2

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。

(注2) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注3) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。

(注4) 評価額および格付情報については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

メキシコ・ボンド・マザーファンド

(2)外国 (外貨建) 公社債 (銘柄別)

区 分	銘 柄	種 類	年 利 率	額 面 金 額	評 価 額		償 還 年 月 日
					外 貨 建 金 額		
					千円	千円	
メキシコ	Mexican Bonos	国債証券	5.0000	千メキシコ・ペソ 28,000	千メキシコ・ペソ 26,778	156,387	2019/12/11
	Mexican Bonos	国債証券	7.7500	25,000	25,262	147,530	2017/12/14
	Mexican Bonos	国債証券	10.0000	23,500	29,341	171,356	2036/11/20
	Mexican Bonos	国債証券	8.5000	35,000	35,974	210,092	2018/12/13
	Mexican Bonos	国債証券	8.5000	40,000	43,900	256,376	2038/11/18
	Mexican Bonos	国債証券	8.0000	41,000	42,355	247,353	2020/06/11
	Mexican Bonos	国債証券	7.7500	30,000	30,712	179,361	2031/05/29
	Mexican Bonos	国債証券	7.7500	58,500	59,598	348,052	2042/11/13
	Mexican Bonos	国債証券	4.7500	37,000	36,203	211,429	2018/06/14
	Mexican Bonos	国債証券	7.7500	30,000	30,559	178,465	2034/11/23
	Petroleos Mexicanos	特殊債券	7.6500	69,000	65,653	383,416	2021/11/24
	Petroleos Mexicanos	特殊債券	7.1900	162,000	141,750	827,820	2024/09/12
	INTL. BK. RECON&DEVELOPMENT	特殊債券	3.7000	18,000	16,948	98,978	2019/01/16
	INTL. FIN. CORP.	特殊債券	3.7800	69,500	66,294	387,160	2018/08/22
	INTL. FIN. CORP.	特殊債券	3.8800	30,000	28,693	167,571	2018/07/26
EUROPEAN INVESTMENT BANK	特殊債券	8.0000	34,268	35,518	207,429	2027/01/11	
合 計	銘柄数 16銘柄			730,768	715,544	4,178,782	
	金 額						

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。

(注2) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2017年3月22日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
公社債	千円 4,178,782	% 96.4
コール・ローン等、その他	155,498	3.6
投資信託財産総額	4,334,281	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、3月22日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル=111.72円、1メキシコ・ペソ=5.84円です。

(注3) 当期末における外貨建純資産(4,276,856千円)の投資信託財産総額(4,334,281千円)に対する比率は、98.7%です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2017年3月22日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	4,334,281,332円
コール・ローン等	65,218,396
公社債(評価額)	4,178,782,753
未収利息	61,890,763
前払費用	28,389,420
(B) 負債	—
(C) 純資産総額(A-B)	4,334,281,332
元本	3,700,328,255
次期繰越損益金	633,953,077
(D) 受益権総口数	3,700,328,255口
1万口当り基準価額(C/D)	11,713円

* 期首における元本額は1,733,628,605円、当期中における追加設定元本額は2,416,942,380円、同解約元本額は450,242,730円です。

* 当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額は、メキシコ・ボンド・オープン(毎月決算型)3,700,328,255円です。

* 当期末の計算口数当りの純資産額は11,713円です。

■損益の状況

当期 自2016年3月23日 至2017年3月22日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	163,949,528円
受取利息	163,984,707
支払利息	△ 35,179
(B) 有価証券売買損益	△ 152,950,700
売買益	48,815,163
売買損	△ 201,765,863
(C) その他費用	△ 646,389
(D) 当期損益金 (A + B + C)	10,352,439
(E) 前期繰越損益金	435,761,447
(F) 解約差損益金	△ 59,747,865
(G) 追加信託差損益金	247,587,056
(H) 合計 (D + E + F + G)	633,953,077
次期繰越損益金 (H)	633,953,077

(注1) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。